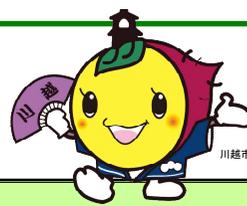


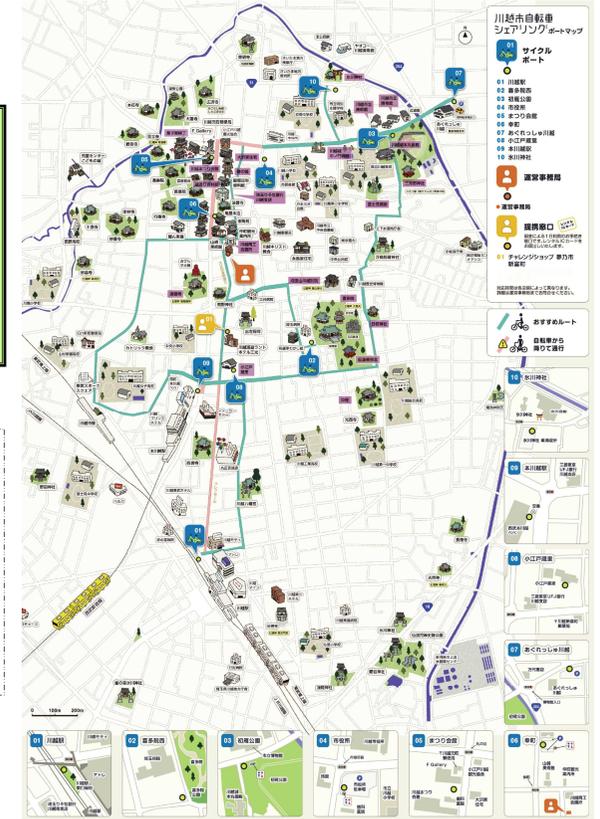


川越市自転車シェアリング



川越市マスコットキャラクター「トキモ」

【サイクルポート配置】



取り組みの概要

- 蔵造りの町並み、喜多院など川越のおもな観光スポットを網羅し、回遊性が向上。
- 郊外型駐車場にサイクルポートを設置。パーク・アンド・サイクルライドを実施。
- 路上端末機で24時間貸出・返却可能。電話での問い合わせも24時間受付。
- 金沢レンタサイクル「まちなり」との相互利用を平成27年3月1日からスタート。

【概要】

実施期間	期間	平成25年12月1日から本格実施
	運営時間	24時間(運営事務局は10時~17時)
施設規模	自転車台数	90台(稼働台数)
	ポート数	11箇所(うち有人窓口1箇所)
料金体系	基本料金	○基本料金
		1日利用:200円
		1か月利用:1,300円
		3か月利用:3,500円
初期登録	登録方法	端末操作または申込書記入
	登録場所	サイクルポート、運営事務局 Web
	管理方法	無人システムによる一括管理
管理	貸出・返却の管理	貸出:ICカードまたはパスワードを利用 返却:ラックに返却(※満車時返却機能あり)
	集中管理	自動データ送信等
	個人認証媒体	ICカードまたはパスワード
	料金収受	無人:クレジットカード決済 有人:現金
機器	自転車車両	・20インチ小径車、内装3段変速 ・新車
	ラック	個別電磁ロック式
	その他	ドレスガードに広告掲載

【実施の目的など】

<想定したターゲット>

観光客を中心とした中心市街地来街者

<実施の目的>

- ①中心市街地での公共交通を補完
- ②自動車からの利用転換による交通渋滞の緩和
- ③まちなかの回遊性の向上、中心市街地の活性化、観光の振興に寄与

<今後の課題、展開予定>

観光施策や地元商店との連携の強化。サイクルポートの増設。

【利用実績】(平成26年4月1日から平成26年12月31日)

延べ利用者数	12,967人
延べ利用回数	46,136回
1日平均利用回数	169回/日
回転率	1.97回/台・日
平均利用時間	20分21秒/回



担当 : 川越市都市計画部交通政策課 田中宏明
 連絡先: 049-224-5519(直通)
 運営事業者: 株式会社 ペダル



サイクルポート(市役所)



シェアリングの自転車

【金沢レンタサイクル「まちなり」との相互利用】

<内容>

- 1 有効なICカードやパスワードをお持ちの場合
川越市自転車シェアリングまたは「まちなり」で有効なICカードまたはパスワードをお持ちの方は、そのまま、そのICカード等で他方の都市の自転車を借りることができます。
- 2 有効なICカードやパスワードをお持ちでない場合
川越市民または金沢市民の場合、訪問先の事務局で手続きを行えば1日利用の基本料金が無料です。





柏市 【実証実験】 かしわスマートサイクル



☆自動車からの転換による温室効果ガスの低減を目的に、自転車利用促進事業の1つとして「かしわスマートサイクル」を導入するため、実証実験を実施

- 独自の取り組み**
- ☆お得な深夜料金制度！！ 夜9時～翌朝9時:上限200円
 - ☆完全無人化によるポート運営！！
 - ☆お助けボーナスポイント制度！！ 自転車が少ないポートへの追加 = **200ポイント** 1ポイント=1円



【実験概要】

実施期間	期間	H22/4/28(水)～ 継続中
施設規模	運営時間	5:00～24:00 ※返却は25:00まで
自転車台数	50台	
ポート数	9箇所	
料金体系	①月定額プラン：基本料金900円/月 (最初の60分無料, 60分超過ごとに100円) ②1回利用プラン：100円/60分 ※夜9時～翌朝9時：上限200円	
初期登録	登録方法	携帯・Web登録, または窓口にて申込書に記入し, 専用ICカードを発行
	登録場所	UDCK, まちづくり公社
管理	管理方法	ポートは無人管理, 管理者は利用状況を専用サーバーで確認
	貸出・返却の管理	専用ICカードの認証 (個人認証も兼務)
	集中管理	サーバー管理
機器	料金收受	①クレジットカード ②登録場所にて現金前払い
	自転車車両	①ミヤタ製 26インチ 外装6段 ②ブリヂストン製 20インチ 内装3段 ③無印製 26インチ 内装3段 ④オリジナル 前輪20インチ 後輪24インチ
	ラック	①オートロック式 ②簡易式(利用者によるワイヤーロック)

運営主体：柏市まちづくり公社(TEL:04-7164-4141)
柏市土木部交通政策課(TEL:04-7167-1219)

【実験の目的】

想定したターゲット	通学, 通勤, 来訪者
実施の目的	①利便性の向上 ②利用者動向の把握 ③既存レンタサイクルとのすみ分け ④長期実験によるシステムの有効性・安定性及び管理上の問題点の確認 ⑤事業化に向けた収支の検討

【利用実績】 26年12月31日現在

登録者数	1,099名
延べ利用回数	23,673回
1日平均利用回数	14.0回/日
回転率	0.31回/台・日
平均利用時間	25分/回

【実験の評価】

- 利用形態は、柏の葉キャンパス駅と東京大学との利用が約9割を占め、柏の葉地域での回転率は0.54回/台・日
- 利用時間は、利用者の約92%が30分未満
- 実験期間中、レンタサイクルの利用は低下していないため、利用形態の違いからレンタサイクルとの共存は可能
- 定額利用プラン・クレジットカード決済・Web登録の導入により利用回数がH24.7～H25.3で前年同月比で1.8倍に増加
- 自転車偏在解消のトラック輸送の低減化

【今後の課題・展開】

- 利用実績を踏まえ経費節減の観点から、柏の葉地域に絞った事業化への実証実験を継続する
- 法人等多頻度利用の会員の取り込み
- システム、ポート機器の信頼性の向上、無線通信から有線化等の通信機能の安定化
- 事業化についてはスマートサイクル単独事業ではなく、他事業との組合せによる事業化を検討する。

各ポート間の利用回数(22年4月28日～26年12月31日)⇒



↑柏市北部の自転車走行環境が良い地域を中心に、主要施設等に自転車ポートを配置



↑オートロックポート全体写真



↑ICカードリーダーと専用ICカード



↑オートロックポートのラック



↑簡易ポート全体写真

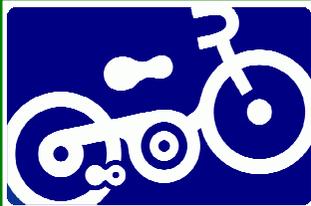


↑ICカードリーダー



↑各ポート間のトリップパターン

貸出	返却	柏たなか駅	東電771	東京大学環境棟	東京大学図書館	柏の葉公園	柏の葉キャンパス	北柏駅	柏市役所分庁舎	柏駅西口第6駐輪場	計
柏たなか駅(簡易ポート)		22	3	4	1	0	21	2	0	0	53
東電771(簡易ポート)		1	19	14	24	0	329	1	0	0	388
東京大学環境棟(オートロック)		7	1	720	46	15	6,645	8	0	89	7,531
東京大学図書館(オートロック)		2	65	48	144	3	2,429	3	0	69	2,768
柏の葉公園(簡易ポート)		2	2	24	9	107	377	3	1	9	534
柏の葉キャンパス駅		20	391	6,868	2,511	454	1,195	39	30	55	11,563
北柏駅(木製ポート)		3	4	4	4	0	12	25	2	0	54
柏市役所分庁舎(簡易ポート)		2	0	0	5	0	50	5	57	237	356
柏駅西口第6駐輪場(簡易ポート)		1	0	21	24	1	59	1	304	30	441
合計		60	485	7,693	2,768	580	11,117	87	394	489	23,673



江東区

臨海部コミュニティサイクル実証実験

- 都内初の本格的コミュニティサイクル(平成24年11月開始)
- 平日の通勤利用、土日の観光利用により、利用実績は非常に好調
- 27年度より電動アシスト自転車、GPS・通信機能を活用した新システムへ移行
- 周辺区との相互乗り入れも今後検討

【実験概要】平成27年2月時点

実施期間	期間	平成24年11月21日～平成30年3月31日	
期間	運営時間	24時間	
施設規模	自転車台数	300台	
規模	ポート数	21箇所(有人窓口1箇所含む)	
料金体系	プラン	料金(税抜)	支払方法
	1回会員	基本料金:なし 最初の60分まで:96円/回	クレジット カード
	月額会員	基本料金:953円/月 最初の60分まで:0円	
	1日パス	当日24時まで:477円/日 (時間制限なし)	交通系IC /現金
	※1回会員・月額会員は60分を超過した場合30分ごとに96円		
初期登録	登録方法	○1回会員・月額会員 web登録のうえ登録機で認証/有人窓口 登録機/有人窓口	
	登録場所	登録機(主要8ステーション)・有人窓口(1箇所)	
管理	管理方法	遠隔管理、作業員による再配置・巡回	
	貸出返却管理	自転車付帯のICタグによる無人管理	
	集中管理	システムにより一元管理	
	個人認証媒体	交通系ICカード、FeliCa内蔵携帯端末(おサイフケータイ)、専用ICカード	
機器	料金收受	○1回会員・月額会員 クレジットカード ○1日パス 交通系ICカード/現金	
	自転車車両	ブリヂストンサイクル「ベガス」(20インチ)	
	ラック	平置き/電磁ロック	
その他	主要ポートに登録機を設置		

【実験の目的】

○想定したターゲット:観光/業務/私事/通勤等
○実施の目的や背景等:「豊洲グリーン・エコアイランド構想」に基づく施策として、地区の特性を最大限に活かした環境まちづくりの実現を図るとともに、まちの回遊性を向上し、地域の活性化と賑わいの創出を図る。

【利用実績】平成27年1月末時点

登録者数	43,067人
延べ利用回数	391,676回
1日平均利用回数	488回/日(最大1,010回/日)
回転率	1.98回/台・日
平均利用時間	67分/回

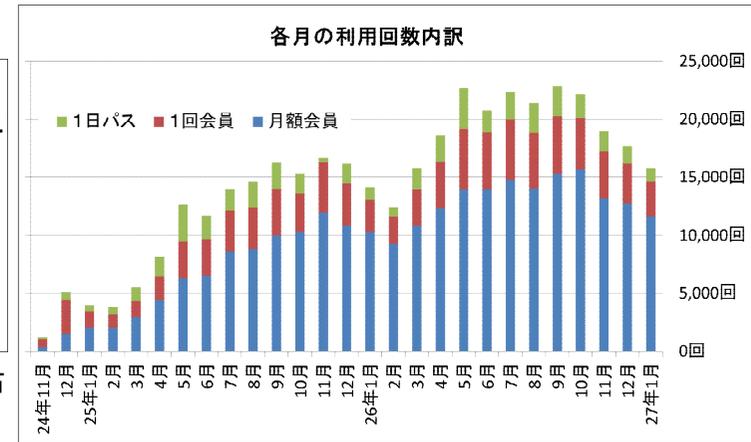
【実験の評価・今後の取り組み】

評価:○旺盛な利用実績が示す需要の多さ
○公共交通を補完し、利便性や回遊性向上
△特定ステーションへの自転車集中
△ステーションの偏在

- 今後:①電動アシスト車・新システム導入
②現エリア内でのステーション高密度化
③エリア拡大・近隣区との広域展開

担当:江東区 都市整備部まちづくり推進課 小川・中原・大石
連絡先:03-3647-9714
運営事業者:株式会社NTTドコモ

ステーションマップ





横浜市 横浜都心部コミュニティサイクル事業

- 実施主体を市、運営主体をNTTドコモとする協働による実施
- H27.3.1に新システム導入
- 会員数、利用回数ともに増加
- コンビニエンスストアとの連携による利便性向上

【概要】

実施期間	期間	H26.4.1~H31.3.31	
	運営時間	6:00~22:00	
施設規模	自転車台数	400台	
	ポート数	38箇所(H27.3.1時点)	
料金体系	登録料	0円	
	利用料金	基本料金+利用料	
		基本料(税抜)	利用料(税抜)
	月額会員	2,000円/月	最初の30分 0円 超過30分毎 150円
	1回利用	150円/回	
※H27.3.31までは月額1,500円、1回利用100円			
初期登録	登録方法	携帯電話、パソコンによる登録	
	登録場所	Web、有人カウンター	
管理	管理方法	遠隔管理	
	貸出・返却の管理	自転車に設置されている操作パネルに会員証をかざすか、事前予約によるパスワード入力	
	集中管理	自動データ送信等	
	個人認証媒体	おサイフケータイまたは、交通系ICカード、専用ICカード、パスワード	
	料金收受	クレジットカード	
機器	自転車車両	・ブリジストン/bikke ・20インチ、内装3段変速、電動アシスト	
	ラック	平置き	

【目的】

- 想定したターゲット:観光/買物/業務/通勤等
- 実施の目的や背景等:「中期4か年計画」「横浜都市交通計画」「関内・関外活性化推進計画」「環境未来都市計画」などの上位計画に位置づけられた都心部活性化、観光振興および低炭素化に寄与する取組

【利用実績】(H27.1.31)

登録者数	26,392名
延べ利用回数	132,813回(H26.4~H27.1)
1日平均利用回数	434回/日(H26.4~H27.1)
回転率	1.45回/台・日(H26.4~H27.1)

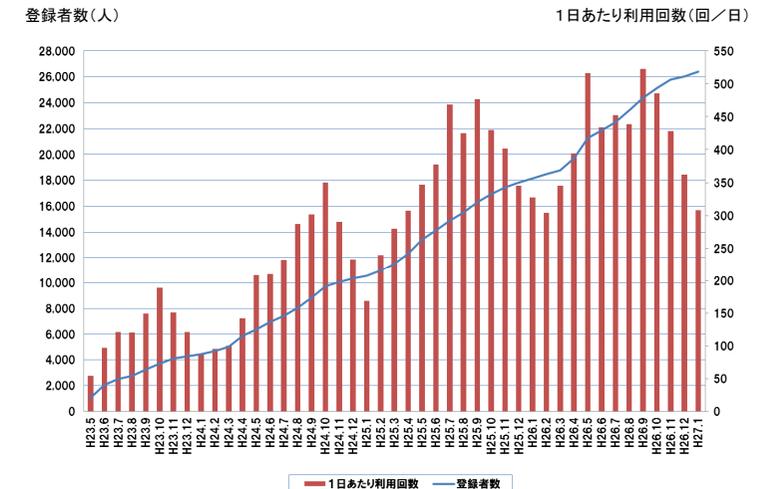
【評価】

- 3年間の社会実験の成果を受け、H26.4より本格実施。
- 会員登録数、利用回数ともに着実に増加している。
- エリア、規模の拡大を行い、更なる利用の増加と普及を目指す。

担当 : 横浜市都市整備局都市交通課 二見、三川
連絡先: 045-671-3512
運営事業者: 株式会社NTTドコモ



横浜都心部コミュニティサイクル 利用状況の推移





金沢市 (公共レンタサイクル「まちなり」)

- 民間事業者(株)日本海コンサルタントが運営、市は機器類の無償貸与と運営負担金の支出
- クレジットカードを使用し、初めてでもポートにてわずか1分で利用可能
- ホテル等の提携窓口、まちなりサポーターなど、市民や民間企業との協働で実施

【実施概要】

実施期間	期間	平成24年3月24日(土)開始
	運営時間	貸出 7:30~22:30 返却 24時間可
施設規模	自転車台数	155台
	ポート数	19箇所+事務局
料金体系		1日基本料金 200円 1月基本料金 1,000円 1年基本料金 9,000円 追加料金 30分超ごとに200円
初期登録	登録方法	ポート(タッチパネル) 窓口(申込書記入)
	登録場所	ポート(無人)、窓口
管理	管理方法	無人・遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出:ICカード等 返却:ラックに返却
	集中管理	自動データ送信等
	個人認証媒体	ICカード又はパスワード
	料金收受	無人:クレジットカード 有人:現金
機器	自転車車両	・小径車、新車 ・20インチ、内装3段変速 ・自動ライト点灯、前カゴ
	ラック	個別電磁ロック式
	その他	路上端末機 (利用手続、利用履歴確認、 精算書発行、ポート満空等)

【目的等】

- (目的)・来街者の2次交通の充実
・市民の足としての都市内交通の充実
- (背景)・平成22年8月~10月:社会実験を実施
・平成27年3月14日:北陸新幹線開業

【利用実績】

	H24.3.24~H27.2.28
購入者数	70,925人・件 1日利用者: 68,685人 1月利用者: 1,830人 1年利用者: 147人 法人会員: 263件
延べ利用回数	287,790回
1日平均利用回数	268回/日
回転率	1.73回/台・日
平均利用時間	18分/回

【H26実施事項】

- まちなり自転車の一斉更新
- ポート位置の変更・駐輪機器台数の調整
- 川越市との相互利用の連携
- 各種利用促進事業の実施

担当 : 金沢市歩ける環境推進課 吉田、前野
連絡先: 076-220-2371
運営事業者: (株)日本海コンサルタント 片岸、井上



新まちなり自転車(H27.3.6更新)



堺市 さかいコミュニティサイクル

- 自動車利用中心から公共交通や自転車利用中心へ都市構造を変革する取組み
- 5か所の駅前サイクルポート(ゲート式)と2か所のまちなかサイクルポート(ラック式)を整備、運営
- 地場産業である堺製の自転車を使用

【概要】

実施期間	期間	平成22年9月～
	運営時間	◆駅前サイクルポート 午前6時～翌日午前1時 ◆まちなかサイクルポート 24時間
施設規模	自転車台数	650台
	ポート数	7箇所
料金体系		◆登録料なし ◆1日利用300円(電動400円) ◆定期利用一般2,000円/月 学生等1,600円/月など
初期登録	登録方法	申込書記入、専用ICカード発行
	登録場所	◆駅前サイクルポート管理入室 ◆1日利用カード交付所
管理	管理方法	有人管理/遠隔管理
	貸出・返却の管理	自転車のICタグと専用ICカードの認証
	集中管理	システムで24時間管理
	個人認証媒体	専用ICカード
	料金收受	現金(更新機で専用ICカードにチャージ)
機器	自転車車両	・軽快車24型、26型/電動アシスト ・新車(武田サイクル)/(パナソニック) ・内装式3段変速
	ラック	平置き(ゲート式)/個別電磁ロック式
	その他	コミュニティサイクル・バス情報システム

【目的】

- ターゲット:通勤・通学・観光
- 実施の目的:自動車利用中心から自転車や公共交通機関の利用中心へ都市構造の変革、低炭素都市「クールシティ・堺」の実現に寄与することを目的とする。

【利用実績】 H26年1月利用データより

登録者数	延べ20,736名
延べ利用回数	21,995回
1日平均利用回数	775回/日
回転率	1.2回/台
平均利用時間	420分/回

【今後の展開】

- 回転率の向上を図る。夜間利用の増加に向けた広報活動等
- 堺市自転車のまちづくり推進条例に基づく自転車安全利用のPR活動

担当 : 堺市 自転車まちづくり推進室
自転車まちづくり担当 橋本
連絡先: 072-228-7636
運営事業者: センターパーキング堺
自転車駐車場整備センター



駅前サイクルポート
(ゲート式)



まちなかサイクルポート
(ラック式)



貸出自転車(国内メーカー部品 専用ICカードを使用した堺製自転車)





兵庫県姫路市 みんなの自転車 姫ちゃんり

- 姫路市として初めてのコミュニティサイクル社会実験
- 全国的にも珍しい本格的なトランジットモール内にメインポートを設置
- 世界遺産・姫路城の“白”、地元ゆかりの藍染めの“藍色”でデザイン統一

【実験概要】

実施期間	期間	H26年10月1日～11月30日 計61日間
	運営時間	9:30～17:30
施設規模	自転車台数	65台(内5台は予備車)
	ポート数	7箇所
料金体系		100円/日 (何度でも返却貸出可能)
初期登録	登録方法	申込書記入、会員カード発行
	登録場所	各ポート
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	スタッフが携帯電話で登録及び台帳記入
	集中管理	スタッフが携帯電話でデータ送信
	個人認証媒体	会員証
機器	料金收受	現金
	自転車車両	・小径車、20インチ、変速機無 ・新車(ウェルビーサイクル工業) ・泥除けを専用色に変更
	ラック	平置き
その他		

【実験の目的】

- 想定したターゲット:観光、業務、私事等
- 実施の目的や背景等:都市・地域総合交通戦略にもとづき、都心部に公共交通で来られた方の二次的な交通手段としてコミュニティサイクルを提供し、回遊性を向上させる。

【利用実績】

登録者数	4,469名
延べ利用回数	6,168回
1日平均利用回数	105.9回/日
回転率	1.76回/台・日
平均利用時間	119分/回

【実験の評価】

- 目標としていた回転率1.0を大幅に上回り、一定のニーズがあることを確認できた。
- 平成27年度は第二次社会実験を実施し、機械式のサイクルポートを導入する予定。
- サイクルポートは10箇所程度、車両を100台程度まで増やす予定。

担当 : 姫路市都市局交通計画室(山本, 宮内)
連絡先 : 079-221-2465
運営事業者 : 株式会社日建設計



利用までの流れ
サイクルステーションにて受付が必要です。

- 1 会員カード発券(初回のみ)
身分証明書の提示と必要事項への記入により会員カードを発券いたします。
- 2 カード提示で貸出
1日以内であれば、カードの提示で何度でも貸出可能です。
- 3 次回からは会員カードが必要ですが次回からは会員カード提示とお支払いで貸出可能です。

10日以上のリピーターには数量限定オリジナルグッズをプレゼント!

利用時間 9:30 - 17:30
17:30までに必ず返却ください

利用料金 1日 100円



ポート(①姫路駅前ステーション)



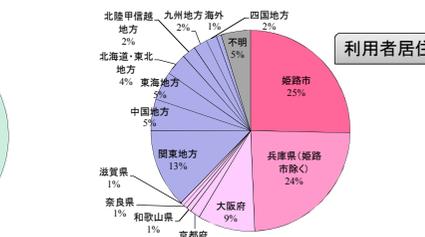
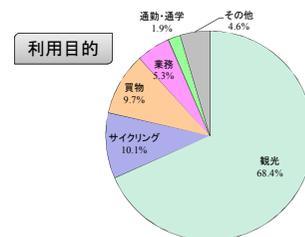
使用車両



外国人利用者



利用者第一号





岡山市 コミュニティサイクル「ももちやり」

**H26年度
ポート8箇所
自転車92台
増設しました!**

- 市と事業者で協定を結び、市が設置した機器等を無償提供することにより、事業者が管理運営。
- ポートで簡単に登録可能(1~2分。携帯電話とICカードのみ必要。)
- 現金、交通系ICカード、クレジットカード、口座振替で支払い可能。

【実施概要】

実施期間	期間	平成25年7月27日(土)開始 ※平成25年8月31日までは基本料金無料で実施
	運営時間	24時間(1箇所ポート除く)
施設規模	自転車台数	232台
	ポート数	25箇所
料金体系	○利用料金=基本料金+追加料金 ・基本料金、追加料金 右図【料金プラン】のとおり	
	管理方法	無人/遠隔管理
管理	貸出・返却の管理	貸出:ICカードをラックにタッチ 返却:ラックに返却 (満車時でも路上端末機を操作することで返却できます)
	集中管理	自動データ送信
	個人認証媒体	ICカード(Felica対応の交通系、流通系ICカード/おさいふケータイ等)
	料金收受	現金/交通系ICカード/クレジットカード
機器	自転車車両	・小径車/新車(パナソニック) ・20インチ、3段変速
	ラック	個別電磁ロック式
	路上端末機	会員登録、料金支払、料金プラン変更

【料金プラン】

	料金プラン	基本料金	追加料金
個人	1回利用	100円	各プランとも1回の利用が60分を超えた場合、30分ごと100円追加(24時間上限1,000円)
	1日利用	200円	
	回数券(5回券)	300円	
	1ヶ月利用	1,000円	
	6ヶ月利用	5,000円	
法人	1年利用	9,000円	
	1年利用	10,000円	

【利用実績(H25.9.1~H27.2.28)】

登録者数	20,626名(H25.7.27~H27.2.28)
延べ利用回数	236,246回
1日平均利用回数	432.68回/日
回転率	2.70回/台・日

【今後の展開予定・課題】

- 岡山駅西口へポートの拡充
- 収支状況の改善
- さらなる利用促進
- 観光客への周知

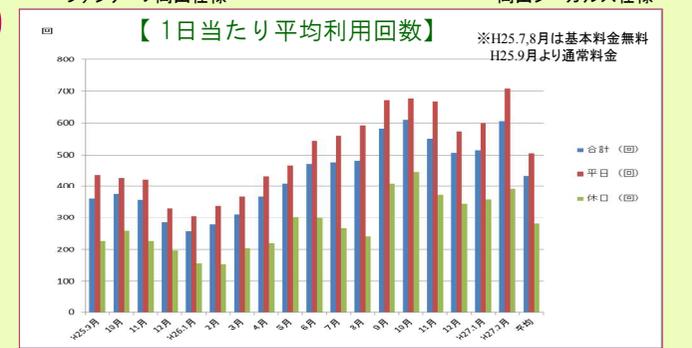


年月	iPhone	Android	合計
総ダウンロード数	6,539	1,771	8,310

(平成27年2月末現在)

担当: 岡山市街路交通課自転車先進都市推進室 矢野・阿川
連絡先: 086-803-1375
運営事業者: 中央復建コンサルタンツ(株)

専用アプリをダウンロードすれば、リアルタイムで各ポートの自転車配置状況が確認できてとっても便利!



【導入の意義】

- 公共交通利用への転換を促進するツール
- 賑わいのある都心部を創出するツール
- 街を彩り、本市のイメージアップに資するツール



鹿児島市 コミュニティサイクル「かごりん」

- 市と事業者で協定を結び、市が設置した機器等を無償提供し、事業者が管理運営を行う
- 携帯電話とSMS(ショートメール)を利用して、サイクルポートの端末機で登録、貸し出し可能

【実施概要】

実施期間	期間	平成27年3月1日(日)開始
	運営時間	24時間
施設規模	自転車台数	174台
	ポート数	20箇所
料金体系		利用料金＝基本料金＋追加料金 右図【料金表】のとおり
初期登録	登録方法	ポート(タッチパネル) 窓口(申込書記入)
	登録場所	ポート(無人)、窓口
管理	管理方法	無人・遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出: 携帯電話、ICカード 返却: ラックに返却
	集中管理	ポートから自動でデータ送信
	個人認証媒体	携帯電話、ICカード
機器	料金收受	クレジットカード/現金/電子マネー(一部のポート)
	自転車車両	・小径車/新車(パナソニック) ・20インチ、3段変速
	ラック	電磁ロック式

【目的等】

(目的)

自家用車等から環境にやさしい自転車プラス公共交通への転換を促進し、温室効果ガス排出量の削減、中心市街地の回遊性の向上、観光の振興を図る

(背景)・平成23年度、24年度に社会実験を実施
・平成25年度は導入へ向けた課題を整理

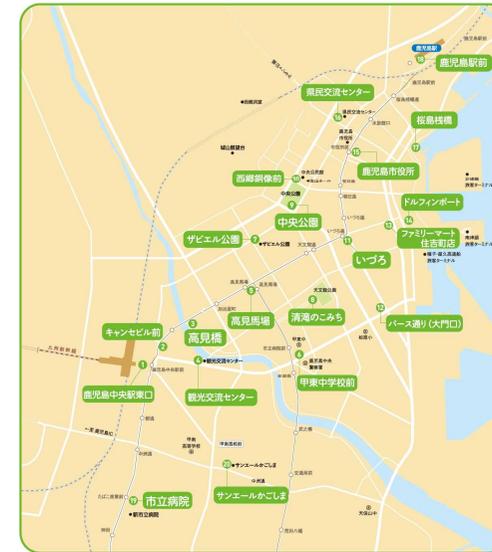
【利用料金】

利用期間	基本料金	追加料金
1日	200円	・何回利用しても 最初の30分は無料
1ヵ月	1,000円	
法人会員 (1ヵ月)	2,000円	・1回の利用時間が 30分を超えたら、 30分ごとに100円

【システムの特徴】

- サイクルポートの端末機で携帯電話とSMS(ショートメール)を利用して、簡単登録・貸出
- 利用者が多く見込まれるサイクルポートには、端末機にデジタルサイネージ(電子看板)を付設し、観光情報や行政情報などを紹介
- スマートフォンを利用することにより、多言語で利用案内サービスを受けることが可能

担当 : 鹿児島市環境局環境政策課 西園
連絡先: 099-216-1296
管理運営事業者: 株式会社JTB九州



サイクルポート設置場所一覧

- 鹿児島中央駅東口
- キャンセビル前
- 高見橋
- 観光交流センター
- 高見馬場
- 甲東中学校前
- ザビエル公園
- 清滝のこみち(天文館公園前)
- 中央公園
- 西郷銅像前
- いづろ
- バス通り(大門口)
- ファミリーマート住吉町店
- ドルフィンポート
- 鹿児島市役所
- 鹿児島交流センター
- 桜島橋
- 鹿児島駅前
- 市立病院
- サンエールかごしま



鹿児島中央駅東口



使用自転車

平成23・24年度の社会実験の結果

	23年度	24年度
実施期間	H23.10.5~11.13 (40日間)	H24.9.1~11.30 (91日間)
運営時間	9:00~18:00	7:30~19:00
サイクルポート数	7箇所	6箇所
自転車台数	70台	70台
延べ利用回数	3,091回	5,524回
1日平均利用回数	77.3回/日	60.7回

あなたとつくるやさしいまち

porocle

札幌市 サイクルシェアリングサービス

札幌みんなのサイクル ポロクル (Porocle)

- ・民間で運営するサイクルシェアリングサービス。※2015シーズンより運営主体をNPO法人に移行
- ・市民と一緒に考えながら創り上げる、持続可能なコミュニティサイクルを展開。
- ・“安全・安心・元気”をテーマに、人とまちとモビリティの良好な環境の創出を目指す。

【実施概要】

実施期間	5/1(木)~10/31(金) 計184日間			
期間	運営時間 7:30~21:00			
施設	自転車台数 350台			
規模	ポート数 46箇所			
料金体系	<ul style="list-style-type: none"> ・登録料: 540円 ・カード代: 1,080円 (送料: 432円) ・利用料金: 			
	<table border="1"> <tr> <td>1ヶ月</td> <td>基本: 1,620円/円、延長(利用): 108円/30分</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>利用: 108円/30分</td> </tr> </table>	1ヶ月	基本: 1,620円/円、延長(利用): 108円/30分	1回
1ヶ月	基本: 1,620円/円、延長(利用): 108円/30分			
1回	利用: 108円/30分			
初期登録	登録方法 PCおよびモバイルWeb登録(ポートでのおサイフケータイ登録可、登録所登録 ※会員情報・クレジットカード入力)			
	登録場所 Web/ポート/登録所等			
管理	管理方法 管理サーバーによる遠隔集中管理 ※データ自動送信			
	貸出・返却の管理 セルフサービス(ICカード認証)/サーバーによる自転車管理			
	個人認証媒体 専用ICカード/おサイフケータイ/SAPICA(交通カード)			
	集中管理 自動データ送信			
	料金収受 クレジットカード/請求書(法人)			
	機器 自転車車両	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルシティサイクル(南雲勝志氏デザイン、武田産業(株)製作) ・26インチ、3段変速、自動点灯ライト 		
ラック	平置き/電磁ロック			
その他	無線通信/ソーラーパネル			

【利用実績】

登録者数	一般 8,832 件、法人 705 件 (251 社) 観光 1,860 件
延べ利用回数	110,164回
1日平均利用回数	599 回/日 (最大 983 回/日)
回転率	2.1 回/台・日 (最大 3.0 回/台)
平均利用時間	20 分/回

【目的】

- ターゲット: 札幌市民(通勤・私事)、札幌企業(主に業務)、観光客。
- 実施目的: 民間が担う新たな公共的な交通サービスとして事業展開。“安全・安心・元気”をテーマに、人とまちとモビリティの良好な環境を創出するまちづくりの一端を担う。また、市民と一緒に考えて考えながら、まちが抱える諸問題を解決していく。

【評価】

- 会員数および利用回数は順調に伸びており、札幌の新しい足として定着してきている。
- 観光プランの利用増加を目的に、観光案内所やホテルとの連携を拡大。申込手続きの簡素化も功を奏し、販売件数は前年度比2倍となっている。
- NPO法人 ezarockとの協働運営を通じて、“ポロクル”の諸問題解決に対する取り組みを実施。取り組み参加者の認識の変化が確認できるなど、課題解決に向けた共感が徐々に広がっている。

■イベント“自転車DAY”の実施(9/13~15)

札幌市中心部で、自転車の楽しさや知識を伝えることで、自転車のルールやマナーに関心を持つ仲間を増やすことを目的に、行政や地域と連携して自転車DAYを実施。様々な情報の伝達前・後に実施したアンケートの結果、多くの方の認識が変化されたことが確認された。



ブースでの情報提供



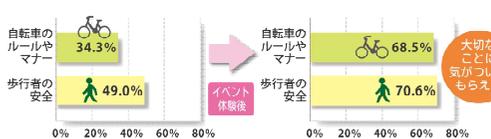
自転車ツアーに向かうスタッフと参加者

アンケート結果

Q. 自転車に乗るときどこを通行しますか？



Q. 自転車に乗るとき何を優先しますか？



オリジナルシティサイクル



車道に面して設置したポート

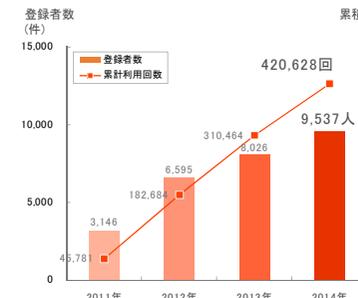


運営の様子

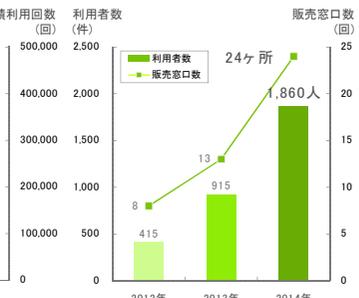


交通安全運動決起大会への参加

【登録者と累積利用回数】



【観光プラン利用者数と販売窓口数】



【2015からは「特定非営利活動法人 ポロクル」が運営を担います】

連絡先: 011-896-5601 担当: 熊谷 美香子・唐澤 弥生
運営事業者: 特定非営利活動法人ポロクル

- 日本で最初のコミュニティサイクル本格実施
- 屋外広告を活用して収支を健全化、富山市には運営費用の負担無し
- 市政情報パネルを設置(歩道側:地図or市政情報、車道側:広告)
- 全17箇所のポートは全て道路上に設置(1箇所公園内)

【実施概要】

実施期間	期間	2010年3月20日～ 1,747日(2014年12月末時点)
	運営時間	24時間365日
施設規模	自転車台数	170台(150台)
	ポート数	17箇所
料金体系	登録料: 無料 基本料: 定期パス500円/月 パスカ 700円/月 メンバーカード 7日パス1,000円 2日パス500円 1日パス300円 利用料: 最初の30分無料 次の30分200円 以降30分毎に500円	
	初期登録	登録方法: 必要情報記入後、会員カード及びID番号を発行 登録場所: Web、郵送、提携ホテル・駐車場窓口
管理	管理方法	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	貸出・返却の管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	集中管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	個人認証媒体	ICカード、ID番号
機器	料金収受	クレジットカード、口座振替、現金
	自転車車両	・自社設計開発、専用自転車 ・26インチ、3段変速、前後LEDライト、鍵付き
	ラック	埋設基礎式、カードリーダー組込
	その他	ターミナル

【目的】

- 想定したターゲット
市内中心部に訪訪する全ての方が対象。
- 実施の目的や背景
富山市は環境モデル都市として、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」によるCO2排出量の大幅な削減を目指しており、特に過度な自動車利用の見直しが大きな焦点。交通網としての利便性を高めることにより、近距離の自動車利用の抑制を促し、二酸化炭素の排出量の削減を図るとともに、中心市街地の活性化や回遊性の強化を図ることを目的としています。

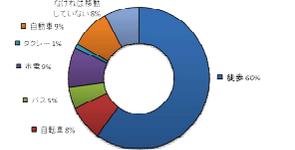
【利用実績】2014年12月末時点

登録者数	5,498名
延べ利用回数	218,688回
2014年 1日平均利用回数	150回/日(通年) 176回/日(3月～11月)
回転率(2014.4月から170台)	0.88回/台・日
平均利用時間	約9分/回

【評価】

- 利用回数が毎年増加
 - 2010年: 31, 306回 (前年比28%増 ↑)
 - 2011年: 40, 224回 (前年比12%増 ↑)
 - 2012年: 44, 926回 (前年比1%増 ↑)
 - 2013年: 45, 368回 (前年比21%増 ↑)
 - 2014年: 54, 742回 (前年比10%増 ↑)
- ・自動車(タクシー含む)からの転換が10% (CO2排出削減に貢献)
- ・概ね80%の利用者がサービスに満足
- ステーションの増設(2014年3月 2ヶ所増設)
- ステーション・パネルへの防犯カメラ導入
- 今後の課題、展開予定等
 - サービス品質の維持
 - ステーションの増設(2015年3月 1ヶ所増設予定)

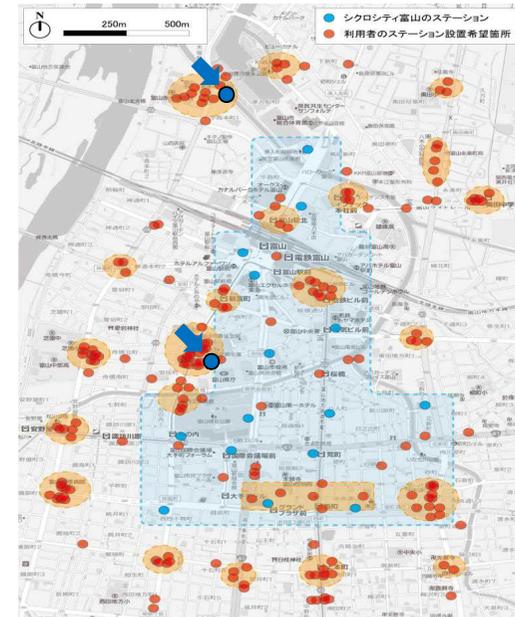
担当 : 富山市環境政策課
連絡先: 076 443 2051
運営事業者: シクロシティ株式会社
連絡先: 03 5217 2510



「(シクロシティを利用する)以前までの移動手段は?」(N=308)

ステーション及びパネルの増設(2014年3月末完了)

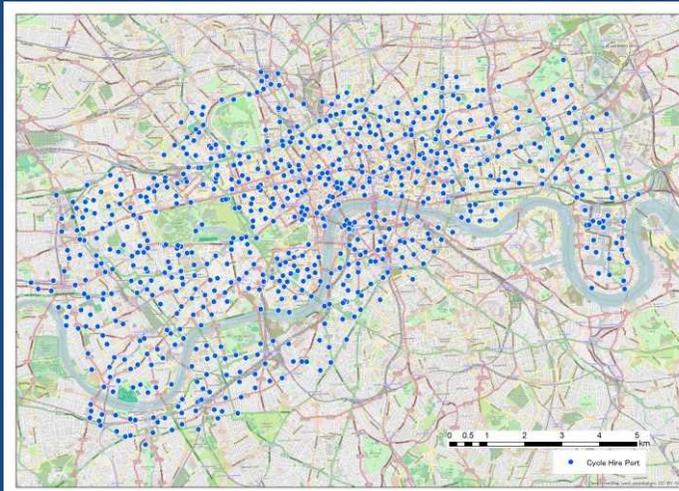
利用者から最も設置要望の多かった2箇所にステーションを増設



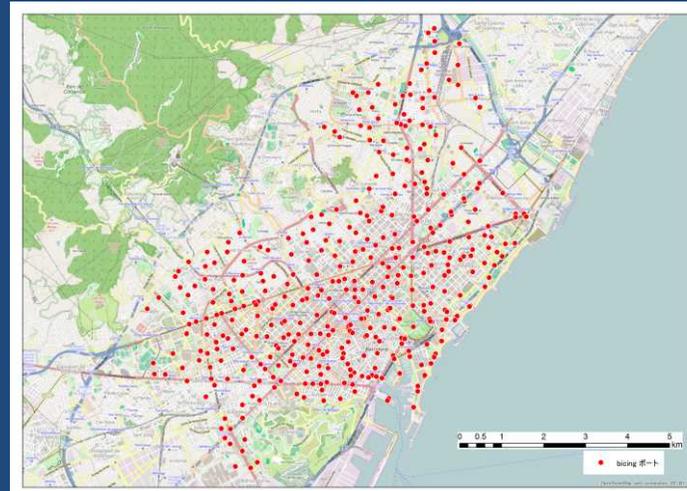
新設パネルには防犯カメラを設置。
サービスの安全及び地域の防犯に貢献。

海外等にみるコミュニティサイクルの導入事例について

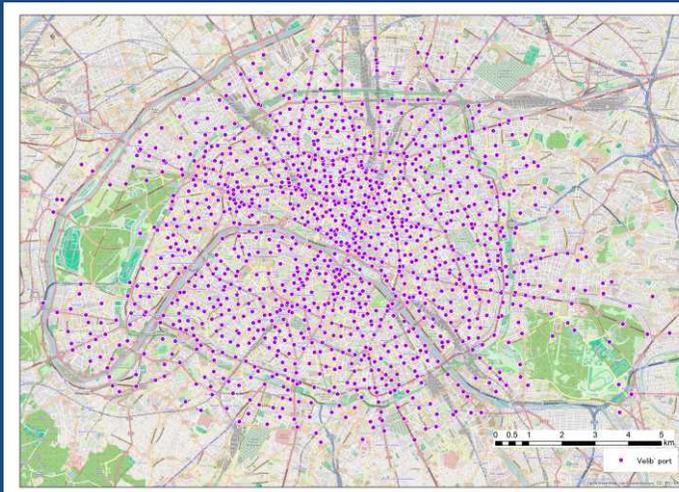
(JTPA自主研究:次世代地域交通に関する研究 2015年3月作成)



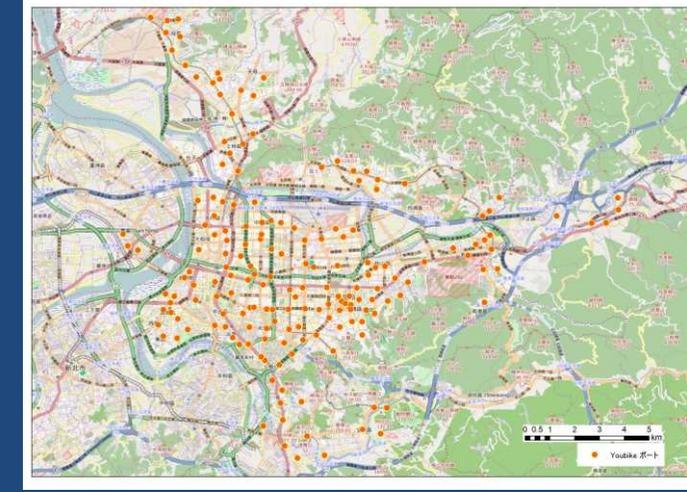
ロンドン	
ポート数	725箇所 (ヒアリング)
自転車数	10,000台 (ヒアリング)
回転率	2.8回 (2014年統計書)
会員数	19万人 (2013年)
事業主体	ロンドン市交通局TfL



バルセロナ	
ポート数	420箇所 (2014年HP)
自転車数	6,000台 (ヒアリング)
回転率	6.5回 (2013年統計書)
会員数	9.8万人 (2013年)
事業主体	バルセロナ市



パリ	
ポート数	1,625箇所 (ヒアリング)
自転車数	23,600台 (ヒアリング)
回転率	約5回 (ヒアリング)
会員数	22.4万人 (2012年)
事業主体	パリ市政府



台北	
ポート数	158箇所 (2014年)
自転車数	5,200台 (2014年)
回転率	11.6回 (2014年)
会員数	100万人 (2013年)
事業主体	台北市政府